

ご支援をチカラに換えて

全国美術館会議と東日本大震災

<http://www.zenbi.jp/>

3月11日、あの東日本大震災から丸2年が経ちます。

全国360館あまりの国公私立美術館・博物館が加盟する全国美術館会議は、震災直後、文化庁の呼びかけによる「文化財レスキュー事業」に参加し、全国から多数の加盟館職員が被災地を訪れ、作品・資料の救出に当たりました。

また、加盟館を通じて広く全国の方々に被災地の美術館・博物館の救援や支援を呼びかけ、募金やチャリティ展で集まった義捐金は1億円を超えています。

全国美術館会議では、昨年から、皆様から託されたこの義捐金を、救出した被災文化財の保存・修復や被災地の美術館・博物館の復興支援、そして今回の甚大な被害を後世に伝えるための記録作業に活用しています。

今後とも皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様からの義捐金は、このようなことに生かされています。
(詳細は全国美術館会議ホームページで公開しています。)

● 被災作品・資料を救出し、安全な場所に移送するとともに、
修復等の処置を行いました。

石巻文化センター(宮城県)、陸前高田市立博物館(岩手県)、宮古市民文化会館、宮古市役所(岩手県)、宮古市個人宅(岩手県)、陸前高田市立広田中学校(岩手県)、気仙沼市および南三陸町(宮城県)

● 小型放射線測定器を購入しました。

福島県立美術館、いわき市立美術館、郡山市立美術館、諸橋近代美術館

● 震災復興をテーマにした展覧会やワークショップ、施設整備
への支援を行いました。

岩手県立美術館 復興支援展示事業「アートのチカラ、いわてのタカラ」第4弾「1年後のIMA(いま)」、福島県立美術館「ベン・シャーン クロスメディア・アーティスト」展、宮城県美術館「元気キャラバン閉上」、リアス・アーク美術館 常設展示「東日本大震災の記録と津波の災害史」、萬鉄五郎記念美術館 震災復興企画展「シリーズ | IWATE コンテンポラリーアート展」《テーマ:在ること》、栃木県立美術館 企画展「ゆく河の流れ—美術と旅の物語」カタログ製作、岩手県立美術館 復興支援展示事業「アートのチカラ、いわてのタカラ」記録集、茨城県近代美術館「二年後。自然と芸術、そしてレクイエム」展関連事業

● 被災作品の保存・修復・公開への支援を行いました。

リアス・アーク美術館の「東日本大震災及び津波の災害史研究室」「東日本大震災大津波被災資料保管倉庫」整備、萬鉄五郎記念美術館の設備復旧、宮城県美術館による石巻文化センター所蔵彫刻作品の一時保管及び展示公開(小企画展「高橋英吉」等)、東京都写真美術館等による「陸前高田被災資料デジタル化プロジェクト」、岩手県立美術館の常設展第4期特集展示「救出された絵画たち—陸前高田市立博物館コレクションから—」、加美町芹沢長介記念東北陶芸文化館の被災収蔵作品修復、神奈川県立近代美術館の「東日本大震災による被災美術品修復報告(石巻文化センター所蔵作品)」展など。

● 震災を記録し伝える事業を実施します。

来年度、「東日本大震災美術館・博物館総合調査報告書」、「東日本大震災文化財レスキュー事業記録集」作成・公開予定

全国美術館会議事務局

〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7 国立西洋美術館内
TEL: 03-3828-0290 FAX: 03-3828-0295
<http://www.zenbi.jp/>



陸前高田被災資料デジタル化プロジェクト クリーニング作業 ©RD3-project



小型放射線測定器の購入(福島県立美術館ほか)



小企画展「高橋英吉」(宮城県美術館)



元気キャラバン閉上(宮城県美術館)



東日本大震災及び津波の災害史研究室(リアス・アーク美術館)



特集展示「救出された絵画たち」(岩手県立美術館)